

7. 家具博物館

「スフォルツァからデザインまで」と題してペリー・キングとサンチャゴ・ミランダが最近リニューールしたこの陳列は、15世紀末から21世紀まで約6世紀に渡って制作された貴重な家具の歴史にスポットをあてている。歴史に基づいた実際の本当の環境を再現した芸術的趣向をこらした空間にしつらえられた家具は、その出所や本来の用途に合わせて同じグループごとに集められ、元の展示方法のお



かげもあって同時代の絵画や版画などの美術品とともに展示されている。大いに注目したいのは、現代デザインの代表者ジョー・ポンティやカルロ・モッリーノ、そして偉大なデザイナー エットレ・ソットサスがデザインした作品を展示した現代家具コーナーである。

8. 「アキッレ・ベルタレッリ」印刷物コレクション

ミラノ生まれのアキッレ・ベルタレッリ（1863～1938年）に捧げた博物館。創設は1925年にミラノ市に寄贈された彼の三十万点に及ぶ版画コレクションに基づき、現在、百万点の印刷物コレクションを誇るこの機関は、展覧会、講演会、定期刊行物を推進している。

美術版画（1400年代の木版画から現代の巨匠まで一万五千点に及ぶ作品）や歴史、宗教、大衆文化、地図、都市景観図、建物のスケッチ、肖像画、衣装や制服のデッサン、祭典や遊びの場面、蔵書票、カレンダー、絵葉書、招待状、名刺、メニュー、ポスター広告などに関連するこのコレクションは、学者や収集家にとっても宝庫である。そのうえに古代書物の豊富なコレクションや現代の全集なども加えられた。これらの資料は閲覧も可能で、目録のコンピューター化と検索システムを準備している。

